

## 1. 授業の概要(ねらい)

この「環境経済学 I」(春期)の講義では、足元から地球規模にまで広がって深刻化している今日の公害・環境問題をめぐる多様な現実について、とくに日本を含むアジアの国や地域に焦点を当てながら、具体的な事例を取り上げて、分かりやすく概説します。そして、この講義を通して、21世紀に生きる私たちが、いま何をしなければならないか、受講者の皆さんと一緒に考える機会にしたいと思います。

## 2. 授業の到達目標

今日、人類共通の最重要問題になっている各種の公害・環境問題をめぐる具体的な現実について、より強い関心を持ち、基本的な認識を深めてもらい、私たち自身の課題として、一連の諸問題に向き合っていたりできるようになることを、この講義の到達目標にします。

## 3. 成績評価の方法および基準

平常点(30%)、中間レポート課題の提出(30%)、最終期末試験(40%)として、総合的に評価します。講義中に参考文献や準備学習の課題等についても指示します。また、毎回の講義への継続的な出席を重視します。

## 4. 教科書・参考文献

### 教科書

特定のテキストは使いません。講義中にプリントを配布し、適宜、主な参考文献などを指示します。基本的な参考文献としては、以下のものを挙げておきます。

### 参考文献

寺西俊一著 『地球環境問題の政治経済学』(東洋経済新報社)  
寺西俊一・井上真・大島堅一編著 『地球環境保全への途—アジアからのメッセージ』(有斐閣)  
寺西俊一監修・東アジア環境情報発信所編 『環境共同体としての日中韓』(集英社新書)  
環境経済・政策学会編 『環境経済・政策学の基礎知識』(有斐閣)

## 5. 準備学修の内容

4.に挙げた基本的な参考文献、講義中に指示する参考文献、配布するプリント等をよく読むこと。

## 6. その他履修上の注意事項

講義は、順序立てて進めていくので、毎回、継続的に出席してほしい。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 「環境経済学 I」開講にあたってのガイダンス
- 【第2回】 環境問題を考えるための基本視点  
(環境問題とはいったい何か?)
- 【第3回】 多様化・複雑化する環境問題の諸相
- 【第4回】 越境型の環境汚染をめぐる問題①
- 【第5回】 越境型の環境汚染をめぐる問題②
- 【第6回】 横行する公害輸出をめぐる問題①
- 【第7回】 横行する公害輸出をめぐる問題②
- 【第8回】 軍事による環境破壊をめぐる問題①
- 【第9回】 軍事による環境破壊をめぐる問題②
- 【第10回】 国際貿易と資源・環境をめぐる問題①
- 【第11回】 国際貿易と資源・環境をめぐる問題②
- 【第12回】 地球温暖化と気候変動をめぐる問題①
- 【第13回】 地球温暖化と気候変動をめぐる問題②
- 【第14回】 補論:エネルギーと環境をめぐる問題
- 【第15回】 全体のまとめ  
—環境的に持続可能な経済社会に向けて